

平成31年2月15日

～墨田区で初開催！！大学生の視点ですみだの魅力をPR～

ひきふね図書館で千葉大学写真部による写真展を開催！

本日から、ひきふね図書館(京島 1-36-5)で、千葉大学写真部による写真展を行っている。これは、平成29年3月22日に区と千葉大学との間で締結した「包括的連携に関する協定」を基に、両者の連携を深めていくために行うもの。区と千葉大学写真部はこれまで区公式インスタグラム等を活用して、大学生が撮った区内の魅力的な写真を掲載するなど連携を図ってきた。このたび、より多くの方にすみだの魅力を知ってもらいたいと同部からの依頼があり、写真展を開催することになった。写真展の開催に当たって、写真パネルや物品等は全て学生が主体となって準備した。

本写真展では、隅田川花火大会や墨堤の桜など、四季折々の区の魅力を感じられる写真や区のシンボルである東京スカイツリー®を中心に趣向を凝らした写真を見ることができる。来場した方を前に写真部の学生は自分の撮った写真の工夫した点やすみだの魅力について説明していた。

本写真展の開催に携わった写真部の学生は「事前の撮影会で区内商店街を訪れて、墨田区は人と人とのつながりが深いまちであることを知った。写真展を通じて、そんな人情あふれる区の魅力を広めていきたい。」と話している。大学生の視点ですみだの魅力を伝えた写真(全37点)を見ることができる本写真展は、2月20日(水)まで開催する。

また、今回写真展が行われているひきふね図書館の隣接地区である文花地区は現在、文花地区まちづくり方針に基づき人々の暮らしと教育・文化・産業の調和したまちづくりを進めるとともに、安全安心で快適な生活環境を形成するまちづくりを推進している。本写真展では、今後行われる千葉大学と文花地区まちづくりとの連携についても紹介している。



来場した方に写真の説明をしている様子



千葉大学写真部の学生

<写真展について>

日時：2月15日(金)～20日(水) 午前9時～午後9時(17日は午後5時まで)

会場：ひきふね図書館(京島1-36-5)2階プロジェクトコーナー

《問合せ》広報広聴担当 TEL 5608-6220

<墨田区と千葉大学について>

本区では、平成29年3月22日に国立大学法人千葉大学と「包括的連携に関する協定」を締結。2021年に同大学工学部の「デザイン」「建築」分野を併せた「デザイン・建築スクール」を旧すみだ中小企業センターに開設する。これを契機に、千葉大学と連携を図り、まちへの愛着や誇りを育むことができる事業を展開している。千葉大学写真部はこれまで、区公式Instagramの充実を図るため、区内商店街やものづくり企業を訪れて撮影会を実施してきた。撮影した写真の一部は区ホームページ（下記参照）等で閲覧可。
https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/sumida_info/opendata/opendata_ichiran/photo/chiba_univ/index.html

<墨田区公式Instagramについて>

区では平成28年9月から、23区で初めて区公式Instagramをスタート。現在、フォロワー数は3,591人と都内自治体の中で1番多い。（2月15日現在）